

### 3. 救急医療相談状況

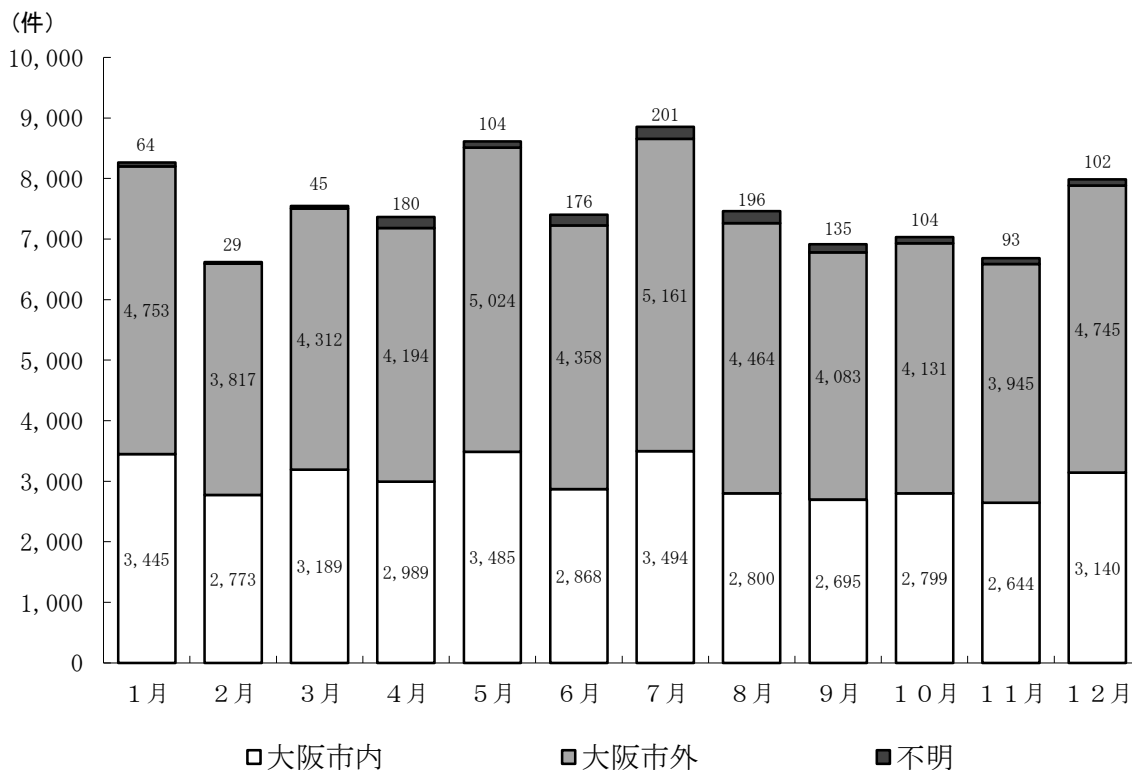
#### (1) 救急医療相談の月別、区域別利用状況

救急医療相談件数は7月が最も多く、続いて5月、1月の順に多くなっている。

(単位：件)

	大阪市内	大阪市外	不明	合計
1月	3,445	4,753	64	8,262
2月	2,773	3,817	29	6,619
3月	3,189	4,312	45	7,546
4月	2,989	4,194	180	7,363
5月	3,485	5,024	104	8,613
6月	2,868	4,358	176	7,402
7月	3,494	5,161	201	8,856
8月	2,800	4,464	196	7,460
9月	2,695	4,083	135	6,913
10月	2,799	4,131	104	7,034
11月	2,644	3,945	93	6,682
12月	3,140	4,745	102	7,987
計	36,321	52,987	1,429	90,737

※合計数には、看護師による救急医療相談の結果、救急車の必要ありと判断したもの3,130件(大阪市内1,405件、大阪市外1,725件)を含む。



(2) 救急医療相談の年齢別利用状況

15歳未満の小児の相談が60.1%、65歳以上の高齢者の相談が10.8%となっている。

年齢	件数	年齢	件数	年齢	件数
0歳	13,105	20～24歳	2,279	65～69歳	2,173
1歳	12,285	25～29歳	3,098	70～74歳	2,266
2歳	6,681	30～34歳	3,785	75～79歳	1,942
3歳	5,304	35～39歳	3,827	80～84歳	1,656
4歳	4,005	40～44歳	3,166	85～89歳	925
5～9歳	9,063	45～49歳	2,281	90～94歳	489
10～14歳	3,267	50～54歳	1,731	95～99歳	144
15～19歳	1,716	55～59歳	1,538	100歳以上	20
		60～64歳	2,454	不明	108
				計	89,308

(3) 救急出場した傷病者の月別傷病程度（大阪市）

救急車の必要があると判断し、救急車を出場させた件数は1,494件（大阪市）で、そのうち緊急入院した傷病者は418名（中等症416名・重症以上2名）であった。また、軽症者の中には脳出血や心筋梗塞などでみられる症状をとらえて迅速な受診につなげ、通院加療にとどまったケースもあった。

	軽症	中等症	重症以上	不搬送	計(件)
1月	82	32		15	129
2月	81	35		11	127
3月	99	47		9	155
4月	81	33	1	9	124
5月	92	41		14	147
6月	73	19		6	98
7月	61	24		4	89
8月	75	30		5	110
9月	70	34		14	118
10月	83	31		8	122
11月	82	38		9	129
12月	82	52	1	11	146
計	961	416	2	115	1,494

